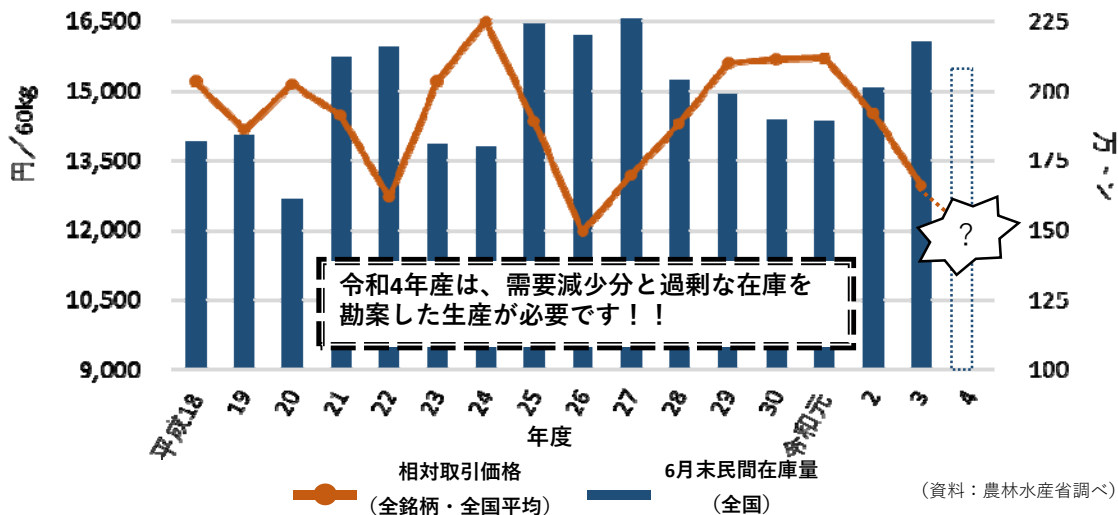




# 需要に基づいた生産が 米価の回復に繋がります！！



平成26年の価格下落の際には回復まで3年かかりました。新型コロナウイルス感染症の影響から需要減退は加速しており、今後も厳しい情勢が予想されます。



- ☆ コメの需要は毎年10万トン減少しています。コメを取り巻く厳しい情勢を受け止め令和4年産米の作付転換に取り組みましょう。
- ☆ 麦・大豆等の戦略作物の本作化とともに、ブロックローテーション体系の構築など地域の水田農業の将来について検討しましょう。

## 経営所得安定対策等における 交付金イメージ

### 【試算条件】

麦：7俵/10a 大豆：3俵/10a なたね：2俵/10a

対象者：認定農業者

飼料用米は令和3年までに複数年契約を結んでいるものとする。



単位：円/10a

品目 <sup>※1</sup>	基幹作	二毛作	畑作物の 直接支払交付金 (グタ対策) <sup>※2</sup>	水田活用直接支払交付金				合計	
				戦略作物助成	産地交付金				
					作物等への助成 (二毛作助成以外)	二毛作助成	地域の取組 追加配分		
主食用米	麦	麦	46,970	9,500	0	5,500	4,000	0	56,470
飼料用米	麦	麦	46,970	106,800	80,000	9,800	11,000	6,000 (複数年契約単価分のみ)	153,770
大豆	麦	麦	76,760	57,000	35,000	11,000	11,000	0	133,760
WCS用稲	麦	麦	46,970	102,000	80,000	11,000	11,000	0	148,970
飼料用米単作			0	90,300	80,000	4,300	0	6,000 (複数年契約単価分のみ)	90,300
麦単作			46,970	40,500	35,000	5,500	0	0	87,470

※1 圃場において1品目のみ作付けする場合、その品目が「基幹作」となる。また、同一圃場で2品目を作付けする場合、任意で基幹作・二毛作の品目を設定することができる(ただし、主食用米は必ず基幹作となる)。

例：大豆・麦の組合せ→大豆と麦のどちらを基幹作としてもよい。

主食用米・麦の組合せ→主食用米が基幹作、麦は二毛作となる。

※2 畑作物の直接支払交付金(グタ対策)の単価は平均交付単価を使用。

※ 産地交付金は販売農家・集落営農であることに加え、それぞれ交付要件があります。

※ 産地交付金の単価は国からの配分額に応じて増減する可能性があります。

県協議会HP



本チラシの内容については、最寄りの地域農業再生協議会までお問い合わせください。

連絡先は県協議会HPにも記載しております。( <http://www.saitama-suiden.org/> )